

(速報情報)

(平成29年6月28日16時発表)

主な船舶事故(6月27日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	海難種類	乗船者数	死者・行方不明者数
1	6月27日 09:03頃	福島県いわき市 小名浜港内	漁船	日本	14.1	6.6	衝突	1	0
			油輸送船 (バージ)	日本	38.75	145	衝突	3	0
2	6月27日 12:00頃	大分県佐伯市 米水津大字小浦 沿岸付近	漁船	日本	4.57	0.4	乗揚 (錨泊中) ※後に沈没	1	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶事故によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 主任海難調査官 寺本

03-3591-6361(内線6505)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

○離岸作業中の油輸送船と航行中の漁船との衝突や、

錨泊中の漁船が、潮に流されていることに気付かず、岩場に乗揚げるといった事故が発生しています。

衝突、乗揚げ事故を防ぐためには「常時適切な見張り」を行うことが重要です。

航行中はもちろんのこと錨泊・操業中も、他船の動行や水域の変化など周囲の状況を常に把握しましょう。

「衝突・乗揚げ事故に注意」

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170531_syoutotsu_noriage.pdf

(速報情報)

(平成29年6月27日16時発表)

主な船舶事故(6月26日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	海難種類	乗船者数	死者・行方不明者数
1	6月26日 05:30頃	広島県呉市 斎島南方沖	貨物船	日本	70.7	488	衝突	5	0
			漁船	日本	12.03	4.9	衝突	1	0
2	6月26日 16:00頃	京都府京丹後市 経ヶ岬灯台北東沖	遊漁船	日本	11.06	5トン未満	機関故障	5 (乗客4名)	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶事故によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 主任海難調査官 寺本

03-3591-6361(内線6505)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

○広島県呉市斎島南方沖において、航行中の貨物船と操業中の漁船が衝突する事故が発生しています。

漁船乗組員は衝突直前に危険を感じたため、自ら海に飛び込み、貨物船に救助されました。

衝突事故を防ぐためには「常時適切な見張り」を行うことが重要です。航行中はもちろんのこと、操業中も「常時適切な見張り」を行いましょう。

「衝突・乗揚事故に注意」

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170531_syoutotsu_noriage.pdf

(速報情報)

(平成29年6月26日19時発表)

主な船舶事故(6月23～25日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	海難種類	乗船者数	死者・行方不明者数
1	6月24日 04:50頃	宮城県石巻市 大須崎沖	プレジャーボート	日本	3.87	0.5	機関故障	2	0
2	6月24日 09:42頃 (情報入手時刻)	三重県度会郡 南伊勢町赤石鼻 南西沖	プレジャーボート	日本	6.14	-	機関故障	1	0
3	6月24日 10:00頃	福井県敦賀市 阿曾沖	プレジャーボート	日本	約4.2	-	浸水	3	0
4	6月24日 10:50頃 (情報入手時刻)	福岡県北九州市 白島東方沖	プレジャーボート	日本	5.4	-	船位喪失 (帰港不能)	1	0
5	6月24日 13:45頃	京都府京丹後市 遊漁港沖	漁船	日本	9.1	3.35	乗揚 (浅瀬)	2	0
6	6月24日 14:15頃 (情報入手時刻)	沖縄県うるま市 伊計島北東沖	プレジャーボート	ケイマン諸島 (イギリス)	19.05	33	機関故障	4	0
7	6月24日 23:10頃	石川県金沢市 金沢港西防波堤灯 台北東沖	プレジャーボート	日本	6.37	-	機関故障	3	0
8	6月25日 06:39頃 (情報入手時刻)	沖縄県糸満市 西崎沖	プレジャーボート	日本	2.97	-	転覆	3	0
9	6月25日 06:55頃 (情報入手時刻)	山口県防府市 潮彩市場前面	漁船	日本	11.05	4.99	転覆 (係留中)	0	0
10	6月25日 08:00過ぎ	千葉県富津市 富津岬西方沖	遊漁船	日本	11.96	16	衝突	5 (乗客4名)	0
			漁船	日本	9.9	2.5	衝突	3	0
11	6月25日 23:57頃	岡山県玉野市 宇野港口飛洲灯台 付近	プレジャーボート	日本	約5.5	-	転覆	2	0

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ (m)	トン数 (t)	海難種類	乗船 者数	死者・行方不 明者数
12	6月26日 03:28頃 (情報入手時刻)	長崎県対馬市 比田勝港東方沖	漁船	日本	49.2	308	衝突	8	0
			漁船	日本	16.4	16	衝突	2	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶事故によって発生した人数です。

※調査中の事項は「―」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 主任海難調査官 寺本

03-3591-6361(内線6505)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

○海上でエンジンが使えなくなると、風や潮に流され岩場等へ乗揚げたり、横波を受けて転覆する等のおそれがあります。

発航前に「発航前検査チェックリスト」等を使用して船体・エンジンの点検を行うとともに、専門業者等による定期的な整備を実施しましょう。

「発航前検査チェックリスト」

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20160701_ivunsvuiiko.pdf

○衝突の主な原因は「見張り不十分」等の人的要因によるものです。

航行中のみならず、錨泊中、漂泊中、操業中も「常時適切な見張り」を行うことが重要です。

「衝突・乗揚事故に注意」

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170531_syoutotsu_noriage.pdf

「海の事故防止対策」

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku.html>

(速報情報)

(平成29年6月23日18時発表)

主な船舶事故

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	海難種類	乗船者数	死者・行方不明者数
1	6月23日 05:32頃 (情報入手時刻)	島根県大田市温泉 津港沖 (船体発見場所)	漁船	日本	11.72	4.3	乗船者 海中転落 (推定)	1	1

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶事故によって発生した人数です。

※調査中の事項は「—」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 主任海難調査官 寺本

03-3591-6361(内線6505)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

- 島根県大田市温泉津港沖において、漂流している無人の漁船が発見されました。
漁に出た漁船が無人状態で漂着、乗船していた船長が行方不明となる事故が発生しています。
一人で漁船に乗り込む方は、特に操業中の海中転落に注意しましょう。
乗船中は携帯電話を防水パックに入れ携帯する等、常に連絡手段を確保し、定期連絡を行うよう努めましょう。

「操業中の海中転落に注意」 http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170623_hitorinori.pdf

(速報情報)

(平成29年6月22日15時発表)

主な船舶事故(6月21日)

海上保安庁交通部安全対策課

番号	海難発生日時	海難発生場所	船舶種類	国籍	長さ(m)	トン数(t)	海難種類	乗船者数	死者・行方不明者数
1	6月21日 16:05頃	福井県大飯郡高浜港沖	プレジャーボート (手漕ぎボート)	日本	3.3	-	乗船者海中転落	1	0
2	6月22日 05:11頃 (情報入手時刻)	鹿児島県奄美大島西方沖	漁船	日本	13.99	14	浸水・転覆	6	0

※速報情報のため、今後の調査により内容が変わる場合があります。

※死者・行方不明者は、船舶事故によって発生した人数です。

※調査中の事項は「-」で表示しています。

問合せ先:安全対策課 主任海難調査官 寺本

03-3591-6361(内線6505)

03-3591-9736/03-3591-9566(夜間直通・土日・休日)

★安全運航のポイント

○福井県大飯郡高浜港沖において、手漕ぎボート上で用を足していたところ、波を受けバランスを崩し海中転落する事故が発生しています。

乗船者は救命胴衣を着用していませんでした。

手漕ぎボートなど舷が低い船上で不用意に立ち上がると、船体が不安定な状態となり海中転落や浸水・転覆の危険性が高まります。

ボートに乗る際は救命胴衣を着用し、船上で立ち上がったたり移動する場合は十分注意しましょう。

「自己救命策確保3つの基本」 <http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/kihon.html>